

伊藤病院だより
WINTER

Voice

2011年12月1日発行 第36号 東京都渋谷区神宮前4-3-6 伊藤病院広報誌委員会



表参道イルミネーション2010

伊藤公一院長が講演を行いました

◆小県医師会学術講演会

8月2日、長野県上田市医師会が主催する学術講演会で、伊藤公一院長が「最近の甲状腺疾患診療」をテーマに特別講演を行いました。



バセドウ病の診療を中心に、効率的な診断法から3種の治療法（薬剤・手術・アイソトープ）について、それぞれの治療成績までを詳細にご紹介いたしました。

講演会は日本医師会の生涯教育講座に指定され、長野県内の地域医療を支える開業医の方々が多数参加されました。

◆東京都内科医会市民セミナー

10月2日、新宿区で開催された「東京都内科医会・市民セミナー2011」で、伊藤公一院長が特別講演を行いました。



「放射能と甲状腺」をテーマに、生体内で甲状腺の持つ重要な働きから、病気の種類、原子力発電所事故後に懸念されている甲状腺がんの話題まで、甲状腺全般について、都民の方々に分かりやすく講演いたしました。バセドウ病や甲状腺がんの患者様に利用する放射性ヨード検査や治療が、極めて安全で有用なものであることも強調し、甲状腺医療における放射線の利点を、正しくご理解いただけるよう努めました。

◆糖尿病・内分泌トレーニングセミナー

10月21日、新宿区で開催された「第22回糖尿病・内分泌トレーニングセミナー」で、院長が特別講演を行いました。



「専門病院における甲状腺疾患診療」をテーマに、バセドウ病の話題を中心として、伊藤病院で行う最新の診断・治療方法を、詳細にご紹介いたしました。

会場には、内分泌専門医を志す若手医師と糖尿病専門のペテラン医師が多数集まり、講演後の意見交換会まで活発な質疑が行われました。

◆「せつこ内科クリニック」開院記念市民公開講座

「せつこ内科クリニック」は9月に北海道札幌市で開院された甲状腺疾患診療所です。同クリニックの遠山節子院長は、開院に先立ち、伊藤病院と大須診療所で熱心に研修をされました。



10月26日に開催されたクリニックの開院記念市民講座では、200名近くの参加者が集まるなか、伊藤公一院長が甲状腺疾患について講演を行いました。

以後、遠山先生と当院は密な診療連携で結ばれております。私共としても、クリニックの発展を心より応援させていただきます。

万国外科学会で発表しました

8月28日～9月1日にパシフィコ横浜で開催されました「第44回万国外科学会」におきまして、杉野公則副院長が発表を行いました。

この学会は、複数の外科領域を対象とした国際会議で、世界各国の医師・研究者が発表・討論が行われます。杉野副院長は、濾胞がんの遠隔転移について、腫瘍の大きさや年齢層との関連を研究し、当院で行っている治療方法と併せて発表しました。

今後も、当院の研究成果について国内外を問わず、広く情報発信を行ってまいります。

杉野副院長が講演を行いました

10月11日に島根県で開催されました「出雲内分泌疾患カンファレンス」で、杉野公則副院長が講演を行いました。

「甲状腺疾患の臨床—甲状腺腫瘍を中心に—」をテーマとして、甲状腺の腫瘍

について、種類、発見のきっかけから診断の流れ、および当院での治療方法や治療成績について、ご紹介いたしました。診断においては、まずは良性なのか悪性なのか見極めることが重要となりますが、悪性腫瘍にも乳頭がん、濾胞がん、髄様がんなどの種類があります。これらの疾患の診断手順や治療方法について、当院での実績や実際の超音波検査画像を交えてご紹介いたしました。

会場には地元の医師が多数参加され、講演後は活発な意見交換を行いました。



第4回日仏医療マネージメント研究会

伊藤病院 外科 鈴木章史



2011年9月4日から9月12日に上記研究会に参加する機会を得ました。本研究会は、当院院長、国際医療福祉大学高橋教授を中心に、現在のフランス医療の実態を学ぶことを主眼に、今回で4回目(年1回)となります。フランスでも日本同様、地域での医師不足や、年々増加する医療費等が問題となっているようで(GDPに占める医療費はヨーロッパ1位)、今回、日本側から、日本の医療システム(DPC等)や地域医療への取り組み(特に母校「自治医科大学」について：鈴木が担当)の紹介も行いました。また東日本大震災への医療支援に参加されたDr.からの報告もありました。フランス医療は、今までよく知りませんでした。医療通訳の奥田さんを通じて、現地の病院や役所、SAMUと言われる救急隊等の担当者から直接お話を伺うことができ、かなり理解が深まりました。特に救急医療体制は世界一とも言われるほど評価されており、一部は日本でも応用出来れば、問題となっている救急車のたらい回し等が解決できるのではと思われました。

「小澤国際室内楽アカデミー奥志賀」設立記念演奏会が開催されました

小澤征爾氏は、自身の指揮者活動に加え、将来のソリストを目指す優秀な音大生の教育に尽力されております。2005年には、ヨーロッパの学生を対象とした勉強会をスイスで開催し、大きな成果を上げました。

そして日本人若手音楽家には、奥志賀高原で勉強会主宰を続けてこられ、今夏、NPO法人「小澤国際室内楽アカデミー

奥志賀」を創設されました。小澤征爾氏の、これら真摯な姿勢に賛同し、7月に上野学園石橋メモリアルホールで開催された設立記念演奏会に、伊藤病院が協賛をさせて頂きました。



写真：上仲正寿
提供：小澤国際室内楽アカデミー奥志賀/
上野学園 石橋メモリアルホール

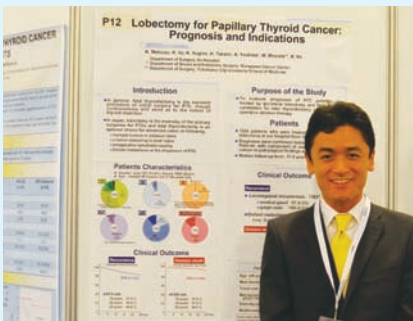
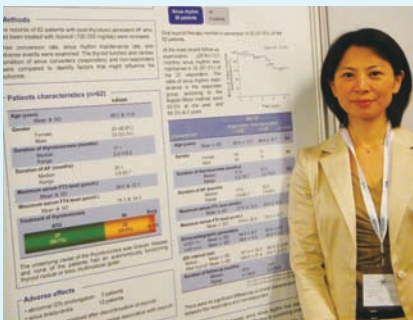
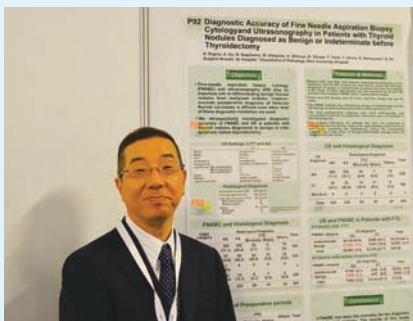
第35回ヨーロッパ甲状腺学会

伊藤病院 内科 國井葉

さる9月10日から14日までポーランド、クラコフ市にて第35回ヨーロッパ甲状腺学会が開催されました。毎年、ヨーロッパの甲状腺を専門とする人々が集まり開催されています。日本人の参加は少ない学会ですが、今年は当院より院長をはじめ杉野副院長、伊藤病院の学術顧問である長瀧重信先生、松津医師、國井の計5人が参加しました。

そして、杉野医師は甲状腺腫瘍の診断における免疫組織化学の役割につき、松津医師は乳頭癌の片葉切除の適応と長期予後につき、國井は甲状腺機能亢進症に伴う心房細動の治療について発表をしました。ポスター会場では、同じ甲状腺疾患の治療につき各国の意見が活発に交わられていました。

また、シンポジウムでは最新の甲状腺疾患の診断、治療につき講演が行われていました。聴講し、甲状腺線分野において日本が大変高い水準にあることが分かりました。特に妊娠を併発した甲状腺疾患の治療指針は、多くが日本人の文献がもとになって作られていました。



ヨーロッパ甲状腺学会で名誉会員に指名されました

伊藤病院 副院長 杉野公則

このたび当院学術顧問である長瀧重信先生がヨーロッパ甲状腺学会の名誉会員に推挙されました。この9月にポーランドで行われた同会議で東日本大震災と福島原発事故について講演をされました。



長瀧先生は長崎大学教授、学部長、放射線影響研究所（広島・長崎）理事長を歴任され、原爆被災者の治療や調査およびチェルノブイリ原発事故の調査団の一員として深く関わっておられました。現在、学術顧問として、当院の学術的な面での支援やアドバイスをお願いしております。

鳥屋城男先生が瑞宝小綬章を受章しました

当院外来診療や病理検査室で細胞診断に携わる鳥屋城男医師が、今秋の叙勲にて瑞宝小綬章を受章しました。

甲状腺穿刺吸引細胞診は甲状腺癌の確定診断として、私どもの診療に不可欠な検査です。鳥屋先生は、採取された腫瘍細胞を顕微鏡検査で診断する分野を長く専攻し、正確な仕事が国内外で高く評価され続けております。

今回の受賞は、青山病院院長など都立病院責任者を歴任された功績が評価されたものです。今後益々、当院検査室スタッフに、ご指導いただくようお願い申し上げます。



福島県南相馬市で講演をさせていただきました。

伊藤病院 診療技術部長 北川 亘

11月7日に福島県の南相馬市立総合病院より依頼を受け、伊藤公一院長、北川亘診療技術部長、佐々木栄司臨床検査技師、天野高志臨床検査技師が講演をさせていただきました。



南相馬市立総合病院は東京電力福島第一原子力発電所より23 kmの距離にあり、東関東大震災時救急対応の中核になった病院です。また東京電力福島第一原子力発電所の事故により一時緊急時避難準備区域に指定され、現在は医療スタッフが不足しながらも地域の基幹病院として緊急入院や手術等急性期医療を行っています。

福島県は東京電力福島第一原子力発電所事故の放射線被ばくで甲状腺に異常がないかを調べるため、18歳以下の子供を対象に甲状腺検査を開始しています。しかし住民の被ばく量が比較的高いとみられる地区から開始されているため、南相馬市での検診はまだまだ充分でなく市民の甲状腺検診の強い要望があり、今回甲状腺に関する講演が依頼されました。

講演には桜井勝延南相馬市長を始め、南相馬市立総合病院金澤幸夫院長、及川友好副院長、看護師、臨床検査技師をはじめとする病院スタッフ、地域の医師会の先生方が多数集まり、講演後は活発な質疑応答が行われました。

また、今後当院の超音波検査を中心とした臨床検査の研修に南相馬市立総合病院の医療スタッフが派遣される予定です。

講演内容

- 1) 伊藤公一院長
“甲状腺疾患診療の実際～甲状腺乳頭癌診断を中心に”
- 2) 天野高志臨床検査技師
“甲状腺乳頭癌のエコー像”
- 3) 佐々木栄司臨床検査技師
“伊藤病院における甲状腺エコー検査”
- 4) 北川亘診療技術部長
“伊藤病院におけるエコーガイド下穿刺吸引細胞診の実際”

論文掲載

伊藤病院 内科 吉原 愛

このたび、日本内分泌学会の英文誌Endocrine Journalに2つの論文が掲載になりましたので、ご紹介いたします。

1. Severe thyroid-associated orbitopathy in Hashimoto's thyroiditis. Report of 2 cases

(Endocrine Journal 2011, 58 (5), 343-348) Yoshihara A et al.

甲状腺疾患に関連した眼の症状（眼症）は、バセドウ病の患者さんに多く認められます。眼症の発現メカニズムについては不明な点が多いですが、バセドウ病で陽性となるTSH刺激抗体、TSH受容体抗体が関与するのではないかとされています。このたび、こういった抗体が陰性の橋本病の患者さんで、治療が必要な眼症の患者さんを経験しました。橋本病の診断であっても、眼の症状がある場合には検査が必要と考えますので、ご相談ください。

2. Reference limits for serum thyrotropin in a Japanese population

(Endocrine Journal 2011, 58 (7), 585-588) Yoshihara A et al.

甲状腺機能が正常か否かを評価する際に、甲状腺ホルモンだけでなく、脳下垂体から分泌される甲状腺刺激ホルモン（TSH）の値が重要とされています。甲状腺ホルモンのわずかな過不足を判断する根拠となるからです。

一般的に参考値（いわゆる正常範囲）は健常とみなされる対象のTSHを測定して作成されています。しかしながら、この対象は多くは20から50才台であり、小児、高齢者にそのまま適用してよいかどうかは疑問が残ります。このたび、年齢別の参考値を検討したところ、TSH値は年齢に応じて上昇する傾向を認めました。

大須診療所からのお知らせ

<遠隔読影システムを導入しました>

当診療所で撮影した放射線検査の画像を伊藤病院でも読影できるよう、「遠隔読影システム」を9月に導入しました。

レントゲンやCT、アイソトープ設備を導入する7月の新築移転以前は、他施設で検査をお願いしていました。この度システムの導入により、伊藤病院内で甲状腺検査画像を読影されている放射線科の医師が読影しダブルチェックできるようになります。もちろん、名古屋からのデータ転送による画像の劣化はなく、伊藤病院では院内で撮影した画像と同レベルの精密な画像が表示されます。

なお、検査画像も患者様の重要な個人情報となりますので、患者様の同意を頂いた上で、専用回線を用いてデータの送受信を行います。

<あすか製薬で講演しました>

9月13日に椿院長が「甲状腺疾患と甲状腺ホルモン製剤について」をテーマにあすか製薬名古屋支店にて講演いたしました。

あすか製薬は甲状腺ホルモン剤「チラーヂンS」を製造しているメーカーです。講演は、甲状腺疾患についての歴史的な背景や、食生活の違いにより世界各国で研究内容が違っていたことなど、非常に興味深い内容でした。講演後も営業担当者から数多くの質問が集まり、甲状腺疾患への理解を深めようとの熱意が感じられました。

<甲状腺外科学会学術集会で発表しました>

10月6日～7日、鳥取県米子市で「第44回日本甲状腺外科学会学術集会」が開催されました。この学会は名前のとおり、甲状腺疾患に関わる外科医師が全国から集まる学会です。

「QOLを重視した甲状腺外科治療」をテーマに多数の医師から症例報告がされるなか、椿院長が甲状腺機能性結節を呈した甲状腺がんについて発表を行いました。この症例は大変まれなケースであり、聴講者も熱心に耳を傾けられてました。

今後も甲状腺疾患専門施設として、積極的に学会活動や講演などの情報発信を続けてまいります。

伊藤病院1Fに当診療所への直通電話を設置しております。ご質問などございましたら、お気軽にお電話ください。

大須診療所

住所：愛知県名古屋市中区大須4-14-59

電話：052-252-7305 FAX：052-252-7308 HP：http://osu-shinryoujiyo.jp/

大須診療所でもアイソトープ検査・治療を開始いたしました。同診療所でも診察を行っている松本医師より、3回にわたってご紹介いたします。第2回は、大須診療所でのパセドウ病のアイソトープ治療についてご説明いたします。

パセドウ病のアイソトープ治療

伊藤病院 内科 松本雅子

第2回は当院でのアイソトープ治療についてご説明をしたいと思っております。

まずは『パセドウ病のアイソトープ（RI）治療』についてです。

甲状腺は昆布などに多く含まれるヨードを原料に、甲状腺ホルモンを作ります。放射線を出すヨードを『放射性ヨード』といい、これを内服することによって甲状腺に集まり、放射線によって甲状腺が少しずつ破壊されます。その結果、甲状腺腫が小さくなり作られる甲状腺ホルモンの量も少なくなり、パセドウ病は改善します。放射性ヨードによる放射能は、ほぼ3～6日ごとに半分の量に減り、やがて体内から測定できないほど少なくなっていきます。

このアイソトープ治療を受ける準備としては、患者様に1週間前から食事のヨードを制限していただき（昆布だしがダメなので、外食での和食が禁止になります）放射性ヨードが甲状腺に取り込まれるように準備します。また同時期より抗甲状腺薬（メルカゾールやチウラジール、プロパジール）は中止していただきます。

具体的には大須診療所では、患者様に2日間連続して外来に受診していただきます。

まず、アイソトープ治療1日目にヨード制限できたか、抗甲状腺薬を中止しているため体調が悪くなっていないか？妊娠していないかなどのチェックと診察を行います。その後『検査用の放射性ヨード』のカプセルを内服していただきます。（検査用の放射性ヨードのカプセルとは、治療用より放射性ヨードの量が少ないものになります）カプセル内服後3時間後に甲状腺に放射性ヨードがどれくらい取り込まれているか測定を行います。きちんと取り込まれていた場合には、その日に今度は『治療用の放射性ヨード』のカプセルをお飲みいただき、帰宅となります。ちなみに『治療用の放射性ヨード』のカプセルの量は、甲状腺の大きさによって変化しますので、患者様個々違う量になります。

次に2日目は『治療用の放射性ヨード』がどのくらい甲状腺にちゃんと取り込まれているか摂取率を測定して簡単な診察をして終わります。治療の1日目は約4時間ほど時間が必要になりますが、2日目は30分もかからずに終了になります。ちなみに治療後は約1ヶ月目に当診療所へ受診していただき、甲状腺ホルモンが安定しているかどうかチェックしましょう。

ただし、このアイソトープ治療はとても有効な治療なのですが、甲状腺内に悪性腫瘍がある方、妊娠中や4ヶ月以内に妊娠希望の方、授乳中の方、18歳以下の方、パセドウ病眼症が活動期の方、心不全など甲状腺ホルモンが高値になると病状が悪化する可能性がある方などはこの治療を行う事はできませんので、詳しくは当診療所へご相談をしてください。

表参道寄り道スポット

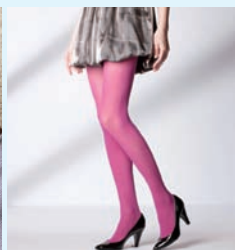
Tabio 表参道ヒルズ店

表道ヒルズ本館地下2階にTabioと言う「靴下専門店」があります。1968年創業以来、日本全国に約280店舗を皮切りに、ロンドンに7店舗、パリに1店舗も出店し「Made in Japan」を通じて「靴下専門店」を体表とする専門ブランドです。

靴下でお洒落を楽しむ意識は、まだまだ低いかも知れませんが、1年各シーズンで楽しめるたくさんの種類があります。専門店ということもあり、メンズ・レディース・キッズはもちろん、ゴルフなどのスポーツ用、特に足のむくみ、疲れ、冷え、臭いなど健康のための靴下が勢ぞろいしていると共に素材も綿・麻・シルクなど様々です。



リボン付き縫製
パイルレッグウォーマー
3150円



30デニールタイツ 630円

今年の傾向としてはカラータイツやレッグウォーマーなどが特に人気があるそうです。

これからだんだん寒くなっていくこの季節に、温かくて健康に良いTabioの靴下をはいて、寒い季節を過ごしてはいかがでしょうか。

お店の方から一言

シーズンごとにお楽しみ頂けるデザインはもちろん、長年の経験と技術によってきた日本の職人たちによってひとつひとつ丁寧に編まれている靴下を豊富に取りそろえておられます。是非一度その履き心地をお試しください。

基本
DATA

名称 Tabio表参道ヒルズ店
住所 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-12-10
表参道ヒルズ 本館地下2階 Tabio
電話 03-5785-0561
FAX 03-5785-0561
HPアドレス <http://www.tabio.com/jp>
営業時間 営業時間 11:00~21:00(平日) / 11:00~20:00(祝祭日)
定休日 年中無休 ※年始年末
アクセス 東京メトロ銀座線・千代田線 表参道駅 徒歩2分、JR山手線 原宿駅徒歩7分

表参道ランチ&グルメ情報

ドイチェ・ドイチェ

🍴 ドイツ料理と聞いて、皆さんは何を思い浮かべますか？ソーセージ？ ザワークラウト？ やっぱりビール？ 「シュベッツレ！」と即座に答えられる方はかなりのドイツ通の方ではないでしょうか？

大多数の方々の頭に浮かぶ「シュベッツレって何？」という疑問に答えてくれるのが、表参道ヒルズ本館地下3階にあるドイツ生パスタ専門店「ドイチェ・ドイチェ」です。

シュベッツレとはドイツの伝統的な生パスタのことで、こちらのお店ではチーズとクリームソースの伝統レシピ「ケーゼシュベッツレ」「北海産ウエのシュベッツレ」「天使の海老とカラスミのパスタ セルヴァチコ添え」などバラエティに富んだシュベッツレをお楽しみいただけます。

もちもちとした独特の食感とパスタによく絡み合う濃厚なソースのハーモニーは一度食べたら癖になることでしょう。定番のドイツ直輸入のソーセージを味わっていただけるのももちろん、ビール・ワインの品揃えも充実しています。ランチはメインディッシュを4種類のシュベッツレか本日のスペシャルティ（肉または魚料理）から選べるビュッフェ形式でソーセージはなんとビュッフェで食べ放題！様々なドイツ料理を心ゆくまでご堪能いただけます。(ランチビュッフェ 11:00~15:00 平日 1500円/土曜・日曜・祝日 1800円 プラス200円でフリードリンク(ソフトドリンク)が付きます。) また、ドイツの菓子マイスターが腕をふるう数々のスイーツが味わえるティータイムも魅力の一つです。(15:00~17:00、ディナー時オーダー可)

表参道にびったりのオシャレな空間で本場ドイツの味を満喫してみてくださいはいかがでしょうか？



お店の方から一言

もちもちとした食感が新しいドイツ生パスタ「シュベッツレ」をはじめ、ドイツ直輸入ソーセージやじめ、ドイツ直輸入によるデザート菓子マイスターによるデザート、ドイツ各地のプレミアムビール、ドイツの多彩な食文化を味わいには是非お立ち寄り下さい。

お店
DATA

店名 ドイチェ・ドイチェ
住所 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-12-10
表参道ヒルズ本館地下3F
電話 03-5775-1941
HPアドレス <http://r.gnavi.co.jp/a033612/>
ぐるなび「ドイチェ・ドイチェ」で検索！
営業時間 11:00~24:00 (日曜のみ~23:00)
定休日 無休
客席数 69席
アクセス 地下鉄千代田線表参道駅A2番出口徒歩3分
JR原宿駅徒歩8分

本館
B2F

本館
B3F

ドイチェ・ドイチェ

タビオ

メインエントランス

B1F・B2F エントランス

西館

本館

そば・しゃぶしゃぶ 武蔵野 2F

ITC HOSPITAL
伊藤病院


至青山通り・表参道駅→

←至明治神宮前・原宿駅・明治通り

同潤館
同潤館エントランス
イーストエントランス

表参道ランチ&グルメ情報

そば・しゃぶしゃぶ 武蔵野

 伊藤病院から歩いて2分もかからないところ、箸の専門店の2階に「武蔵野」というそば・しゃぶしゃぶのお店があります。毎朝、長野県産のそば粉を石臼で粗く挽いて、専門職人による手打ちで「練る」「伸ばす」を繰り返し、他の店で堪能できないほどの豊かな風味・コク・食感を実現しています。そばは「コシが命」と言われていますが、まさにその通りであることを実感できます。



そばの種類は、もりそば・古代そば・かけそば・ゆずきり(ゆずを練りこんだそば)など他に数多くのメニューが勢ぞろいしてあります。その中でも特にゆずきりそばは、漂うゆずの香りを楽しみながら味わい出来る都会ではなかなか口にできない程の贅沢なもので、特に女性の方に大人気だそうです。



ランチメニューも平日昼限定30食モチウドン膳(500円)の以外にもかき揚げ丼セットなどいろいろ

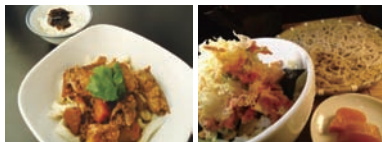
なお品があります。使用されている油も天ぷら専門店の胃もたれしない油を使用し、職人が心を込めて丁寧に揚げているので、さっぱりとした専門店のような天ぷらの味を楽しむことも出来ます。

もちろん夜も営業しており、鹿児島産の黒豚を使用したしゃぶしゃぶの他に旬の野菜の天ぷらなどもあります。

ヘルシーなそば・しゃぶしゃぶなどを迎え上げて、今年の春を迎えたいかがでしょうか！



おすすめメニュー



モチウドン ¥500

かき揚げ丼 ¥1050

店名	そば・しゃぶしゃぶ 武蔵野
住所	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-2-17 青山夏野Rビル2F
電話	03-3497-1129
営業時間	平日 11:30~15:00 17:30~21:00 土日祝 11:30~20:00
定休日	月曜日
客席数	26席
アクセス	東京メトロ表参道駅A2出口徒歩3分

お店
DATA

お店の方から一言

特に手打ちそばにはルチンと呼ばれる成分が多量で毛細血管の強化や血圧の降下に多大な効果があります。当店では健康になっ頂きたいという思いから、このvoiceをお持ちの方に限り、もり蕎麦のおかわりを何枚でも無料で当店の金券を2倍差し上げます。(12月31日まで)

手術室の取り組み

Voiceを手にとされた皆様の中には入院して手術を受けられた方、これから受けられる方もいらっしゃると思います。私達手術室では皆様の不安が少しでも軽減され、リラックスした状態で入院生活をお過ごしいただけるよう、実際に入院・手術を受けられた患者様へ定期的にアンケートにご協力いただき、業務の見直しを行なっていますので、その一部をご報告いたします。

私達は手術前に担当患者様のお部屋へ伺いし、手術室の写真をお見せしながら手術室入室から退室までのイメージをしていただけるようにオリエンテーションをさせていただきます。多くの患者様から「事前に写真を見ることで安心できた」「イメージできた」等前向きなご意見を頂きましたが、中には「写真を見ることで恐怖心が沸いた」「重々しく寒々しい感じがした」といったご意見もございました。

手術室では整理整頓し清潔を保つようしていますが、それが殺風景な印象を与えてしまっていたのではないかと考え、清潔さを維持しながら改善できることがないか、部署内で検討を行いました。

手術前の患者様への接し方などを再検討するとともに、視覚的にもリラックスしていただけるよう、手術室に入室される際に一番目に入りやすい部分を中心に、下記の取り組みを行いました。

- ①カーテンの色をあたたかみのあるピンク色に変更
- ②壁に職員が撮影した四季折々の風景写真を掲示
- ③手術着を華やかな花柄模様の明るい雰囲気のものに変更
- ④リラクゼーション効果のあるBGMへ変更



なお、現在はもっと機能的でデザイン性にも優れるオリジナル手術着をスタッフ全員で考案中です。

小さな試みではありますが

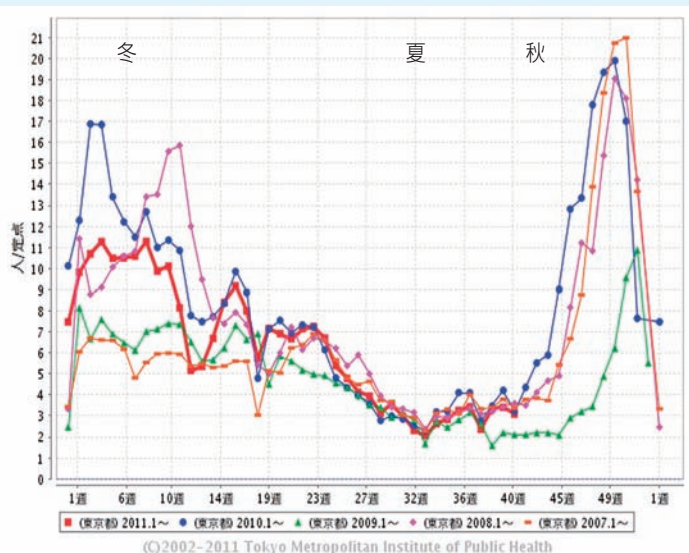


が、皆様から頂いたご意見を大切に、業務に反映していこうと日々努力しております。これからもお気づきの事がありましたらぜひ私達に教えて下さい！

暑い夏も終わって、気持ちの良い秋もあっさり過ぎていよいよ寒くなってきました。

寒い季節になると必ず話題になるのがインフルエンザと胃腸炎です。表1のように、これからの季節が流行の本番となります。

表1 感染病胃腸炎の流行状況（小児科医療機関の報告）



東京都健康安全研究センター提供

胃腸炎とは「胃腸のさまざまな炎症・疾患群について用いられる総称」で、何らかの原因によって起こった消化管の炎症と考えられます。原因の多くは細菌やウイルスなどの感染症ですが、金属中毒やアレルギーなどもあります。花粉症が原因となることもあります。

消化管に感染症を起すものとしては、細菌であれば大腸菌やサルモネラ菌、ブドウ球菌など、ウイルスであればノロウイルスやロタウイルス、アデノウイルスなどがあります。

細菌性腸炎は夏場に多く、食中毒の原因になります。これに対して、これからの季節に多いのはウイルス性の腸炎です。

主なウイルス性腸炎の特徴を表2に示します。

表2 ウイルス性腸炎の特徴

ウイルス名	ノロウイルス	ロタウイルス	アデノウイルス
流行時期	秋～冬	冬～春	通年
感染経路	カキ、二枚貝、水、糞便	食物、水、糞便	糞便
潜伏期	18～48時間	1～3日	7～8日
便の性状	下痢	水様便、白色～黄色便	長期間の下痢（酸性臭）
症状	嘔吐、下痢、腹痛、悪心、風邪症状	嘔吐、下痢、腹痛、発熱、脱水症状	嘔吐、下痢、腹痛
罹患期間	1～2日	3～7日	8～12日

胃腸炎に共通した治療の基本は食事療法と安静です。

細菌性であれば抗生剤内服をすることもあります。ウイルス性の場合は特効的な抗ウイルス薬はありません。

腸内細菌のバランスが乱れていることが多いため、整腸剤は基本治療として用いますが、止痢薬ではむしろ病原体の排泄を遅らせることもあり用いません。

嘔吐が強い場合には制吐剤を用います。

脱水傾向になることで症状を増悪させることがあるため、積極的な水分摂取が奨励されますが、嘔吐が強くて経口摂取が困難な場合は点滴が有効になります。

胃腸に優しい食事として野菜スープ、おかゆ、煮込みうどん、ふかしいもなどがあげられ、他の食べ物を摂る場合も、やわらかくて流動食に近いものが理想だと言われています。逆に味が強すぎるものを避けるようにしてください。油や砂糖、香辛料などの使いすぎもよくありません。そのほか牛乳も良くないとされています。

予防の基本は手洗いです。排便後、また調理や食事の前には石けんと流水で十分に手を洗いましょう。便や吐物を処理する時は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

調理の際に加熱をしっかりとすることも重要です。

正しい知識で冬を乗り切り、元気に春を迎えましょう。

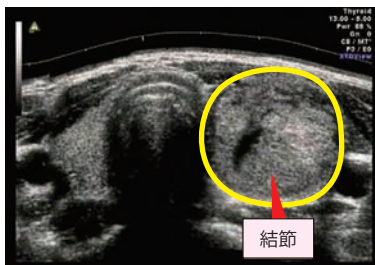
甲状腺機能亢進症の原因のひとつに、機能性甲状腺結節(中毒性甲状腺結節)があります。通常、甲状腺は脳からの刺激(甲状腺刺激ホルモン、TSH)の命令を受けて甲状腺ホルモンを産生します。甲状腺ホルモンが過剰になるとTSHが低下し、甲状腺ホルモン産生が調整されます。機能性甲状腺結節は、自律性にホルモン産生能を持った結節で、通常の甲状腺刺激ホルモンの影響を受けずにホルモンを産生しています。

ホルモンを産生する結節がひとつである中毒性単結節性甲状腺腫(AFTN)と、複数の結節がホルモンを産生する中毒性多結節性甲状腺腫(TMNG)があり、超音波検査で結節数の評価と、ラジオアイソトープ(RI)検査でホルモンを産生している部位を評価することで診断をつけます。

甲状腺機能亢進による自覚症状が強いときには抗甲状腺剤を併用し、甲状腺機能をコントロールしますが、ホルモンを産生している結節のため、抗甲状腺剤のみでは最終的な治療完了には至りません。根治的な治療には、手術と放射性ヨードの選択肢があります。大きな結節で圧迫症状があるかた、早期の治療完了を希望されるかたへは手術をお勧めします。手術で結節を取り除くことができるためです。

圧迫症状が強くないかたへは、放射性ヨード治療も勧められます。放射性ヨードカプセルを一回内服するだけで治療が終了し、入院の必要はありません。いずれの治療を選択された場合でも治療後に甲状腺機能が低下する場合がありますので、治療後も定期的なチェックをお勧めしています。

中毒性単結節性甲状腺腫 (AFTN)



超音波検査：甲状腺左葉に結節を認める



RI検査：左結節に一致した集積を認める

気管支鏡検査とは、口または鼻からのどを通して内視鏡(気管支ファイバー)を気管や気管支に挿入しその内部を観察する検査のことです。気管や気管支は肺につながる空気の通り道ですので、主に肺ガンをはじめとした呼吸器疾患の診断や治療に用いられるのが一般的ですが、当院でも患者様の病状によって気管支鏡検査を行うことがあります。

甲状腺は気管の前面に密着している臓器ですので、甲状腺ガンが進行すれば気管の中に腫瘍が入り込んでくる可能性があります(これを“浸潤”(シンジュン)といいます)。ガンの気管への浸潤があれば、気道が狭くなり息苦しさが生じたり、血痰の原因にもなります。また、気管を合併切除するなどの大がかりな手術が必要となりますので、術前に気管浸潤の有無を確認しておくことは甲状腺ガンの手術の際には重要なことです。

そこで当院では、術前に甲状腺ガンの気管浸潤が疑われる患者様には気管支鏡を用い気管内部の観察を行っております。ガンの浸潤があれば気管内に侵入した腫瘍やそれにより狭くなった気道が確認できます(図)。

気道にファイバーを挿入するというと恐怖感や抵抗感があるかも知れませんが、検査に用いるファイバーは直径6mm程の胃カメラより細いもので、検査の時間は病状にもよりますが3~5分程度と短いものです。噴霧式の局所麻酔薬でのどにしっかりと麻酔をかけた上でファイバーを挿入しますのでのどの違和感は強くありません。もちろん検査中は普通に呼吸ができますし、体内の酸素濃度をモニターを装着しながら検査を行いますので心配いりません。具体的な検査の流れに関しては検査前に担当医より詳しく説明させていただきます。

最近のトピックとして、CTの画像を再構成したバーチャル気管支鏡の開発が進んでおります。近い将来に内視鏡を挿入せずに甲状腺ガンの気管浸潤が診断できる日が来るかも知れません。

図 甲状腺ガンの気管浸潤



狭くなった気道



腫瘍



狭くなった気道

内部監査員のスキルアップ

伊藤病院 ISO事務局 岩橋靖

当院の理念「甲状腺を病む方々のために」にあるとおり、「患者様の満足度向上」が一番大切な目標です。ISO事務局も、職員一人ひとりがこの目標への意識を高めていくためにさまざまな取り組みを行っております。ISO9001においても、患者様の満足度向上のために内部監査を実施し、自分たちで継続的に業務改善を進めていくことが求められております。

内部監査は職員誰でもが実施できるわけではなく、ISO事務局で定めたカリキュラムを修了し、「内部監査員」という院内資格を取得しなければ実施出来ません。

資格を取得した後も当院では内部監査員の能力を向上させ、より効果的な内部監査を行うために内部監査員に対するスキルアップ研修を実施しています。内部監査員は院長、副院長をはじめとする医師を含めた全ての部署から職種・役職に関係なく構成されております。7月に行われたスキルアップ研修では医師にも積極的に参加していただき、他部署の業務の流れの理解、現状の問題点の把握や医療安全に対する意識を高めることができました。この研修により、翌月行われた内部監査（第5回目）では今まで以上に内容の濃い内部監査を行うことができました。

今後もこのような活動を継続し、能力の高い内部監査員を多数育成し、患者様の満足度向上につながる内部監査を実施していきたいと考えています。



病院からの おしらせ

防災訓練を実施しました

9月8日に、全職員を対象に、人工呼吸や心臓マッサージ、AED（自動体外式除細動器）の使用など心肺蘇生措置を中心とした防災訓練を実施しました。

今年は3月11日の東日本大震災をはじめとして、鹿児島県の新燃岳噴火、大型台風の通過など多くの甚大な災害に見舞われ、これらの訓練の重要性も増しております。職員も例年以上に熱心に聞き入り、心臓マッサージやAEDの使用を体験しました。

また、ご存じの方もいらっしゃると思いますが、昨年6月に新しい蘇生ガイドラインが発表され、人工呼吸よりも胸骨圧迫（心臓マッサージ）を重視する方向になりました。詳細は日本蘇生協議会ホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。



13診察室を2階へ移動しました

10月に超音波（エコー）下穿刺吸引細胞診、ペイトを実施しております「13診察室」を地下1階から2階へ移動いたしました。なお、細胞診・ペイトはともに従来どおり予約制となっておりますので、予約時にご説明させていただきます。

7月の「検査22」地下1階への移動に続き、採血台の増設など、段階的に改修工事を実施し、院内の混雑緩和ならびに利便性向上に取り組んでまいります。

工事に伴い、患者様にはご迷惑をお掛けいたしますが、ご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

確認くん・携帯確認くんの機能を追加しました

確認くん、携帯確認くんで採血（検査21）・超音波検査（検査22）のおおよその待ち人数、ならびに担当医が確認できるようになりました。なお、待ち人数の表示は採血→超音波検査→診察室の順になります。

確認くんは2Fに3台、1Fに2台、B1Fに1台設置しておりますので、ご利用ください。

詳しくは確認くんに設置されております「確認くんパンフレット」をご参照ください。また、ご不明な点がございましたら、職員にお声がけください。

看護体験学習を受け入れました

伊藤病院 病棟師長 石澤緑

7月21日に東京都ナースプラザ主催の「一日看護体験学習」と、8月1日に東京ロータリークラブ主催の高校生を対象とした「インターンシップ（職業体験）」が当院で実施されました。

「1日看護体験学習」では中学生4名、「インターンシップ」では高校生2名が病棟看護師と一緒に、車椅子移動や血圧測定、手浴など看護師の仕事の一部を体験しました。また入院中の患者様と会話をし、「笑顔を見せてくれて嬉しく思った」と看護の喜びを感じ取ってもらえ有意義な体験になったと思われます。今回の体験が少しでも将来の職業選択に役に立てれば良いと思います。



引き続き節電に取り組んでまいります

今年の夏も厳しい暑さが続きましたが、患者様には東日本大震災の影響による節電にご協力いただき、心から感謝を申し上げます。お陰さまで、前年同時期に比べ、10%以上の消費電力を抑えることができました。経済産業省から、「電気の使用制限」は9月をもって終了するという発表がありましたが、今後も15%の需要抑制が努力目標として残されており、当院も引き続き節電に取り組んでおります。

患者様には、大変ご迷惑お掛けしますが、引き続きご理解、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

【節電対策概要】

LEDの照明順次導入

使用していないエリアは空調を停止

病棟、外来、診療部門ごとに適切な温度設定

職員全体に節電対策について周知徹底

国際医療福祉大学からの実習生

当院では、毎年、国際医療福祉大学の実習生を受け入れています。今年も8月から、約1ヶ月間、3年生2名が実習致しました。

国際医療福祉大学は、医師以外の医療や福祉の専門職を育成する「医療福祉の総合大学」として、平成7年に開校されました。医療福祉分野の高度化・専門化に対応しうる高い技術と知識、優れた判断力と教養とを併せもち、それぞれの専門分野において指導者となり得る人材の育成をしています。

実習生より、ご挨拶を頂きましたので、ご紹介させていただきます。

国際医療福祉大学 医療福祉・マネジメント学科 3年 川守田 作基子さん

1ヶ月という短い期間でしたが、職員の皆様のご指導と患者様のご協力のおかげで有意義な実習にすることができました。実際に診療情報管理室を始め、院内の全部署を見学させて頂き、病院全体がひとつのチームとして連携していることを強く感じました。また、充実したシステム環境や専門病院ならではの診療体制も学ぶことができ、今後医療機関がどうあるべきかを深く考えさせられるきっかけとなりました。

実習を担当してくださった職員の皆様、お忙しい中時間を割いて対応して頂き誠にありがとうございました。実習を通して学んだことを就職活動や就職後の業務にも活かし、将来皆様のお役に立てる日を来ることを切望しています。

本当にありがとうございました。



菊池 友香さん

8月1日より伊藤病院で実習をさせて頂きました。診療情報管理室をはじめ、院内の各部署にて、業務でお忙しいにも関わらず、業務内容を懇切丁寧に教えて頂きました。今回学んだことは普段体験できないことばかりで、私にとって新鮮でかつ驚きの毎日でした。このような有意義な時間を提供していただきましたことに、本当に感謝しております。

また、職員様同士の交わりに驚かされました。伊藤病院に来て間もない私たちに、親身になってお話しをしていただきました。お陰様で、何不自由なく実習させて頂くことができました。

今後、私は医療の職場で勤めたいと改めて認識できました。その願いが叶うよう、日々精進したいと考えています。本当にありがとうございました。



表参道イルミネーション2010

2009年に復活した表参道イルミネーションが、今年も「原宿表参道から日本各地へ感動と元氣と笑顔を発信」をテーマに開催されます。今回は初めてイメージキャラクターを起用しており、表参道のけやきや低木に温かみのある電球色のLED約65万球がきらきらと輝くなか、7人の妖精が舞い降ります。



また、復興支援プロジェクトとして、宮城県仙台市で毎年12月に開催されるイルミネーション「SENDAI 光のページェント」の開催支援も実施するそうですよ。

Fairies表参道イルミネーション2011

開催日時：2011年12月2日（金）～2012年1月3日（火）点灯時間→日没～21:00

（手術室看護師 玉川）

編集後記

早いもので、今年も残りわずかとなりました。表参道のけやきも葉を落とし、やわらかな陽射しが歩道を照らし、冬の訪れを感じる今日この頃です。

2011年とはどのような1年でしたか？今年3月11日の東日本大震災、台風12号や台風15号による被害…と、自然災害という予想もしない出来事に心を痛めました。そんな中、なでしこジャパンのワールドカップ優勝や、世界陸上での金メダル、世界体操選手権での日本人選手の活躍のニュースに元気づけられたのは私だけではなかったと思います。

1日でも早く、心からの笑顔のあふれる日本に戻りたいものです！

災害により被災されました皆様に、心よりお見舞い申し上げますと共に、被災地の一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

では、2012年は皆様にとってよい年でありますように!!

（増田）

甲状腺疾患書籍のご案内

★いずれの書籍も伊藤病院1F売店で販売しております。ぜひ、ご活用ください。



「よくわかる 甲状腺の病気」

著者：伊藤公一
定価：1,360円（税込）
発行：主婦と生活社



「専門医が答える Q&Aバセドウ病」

著者：伊藤公一
定価：1,470円（税込）
発行：主婦の友社



「甲状腺の病気」

速やかな回復のための最新知識
監修：伊藤公一
定価：1,365円（税込）
発行：法研



「甲状腺の病気の治し方」

監修：伊藤公一
定価：1,260円（税込）
発行：講談社



伊藤公一のバセドウ病と診断されたときにまず読む本

著者：伊藤公一
定価：1,470円（税込）
発行：主婦の友社



「甲状腺の病気の最新治療」

バセドウ病・橋本病・甲状腺腫瘍ほか
監修：伊藤公一
定価：1,470円（税込）
発行：主婦の友社

新刊!

発行 2011年12月1日発行 第36号 伊藤病院広報誌委員会

ITO HOSPITAL
伊藤病院

〒150-8308 東京都渋谷区神宮前4-3-6

TEL : 03-3402-7411

FAX : 03-3402-7415

URL : <http://ito-hospital.jp>